

生誕120年 安井仲治 — 僕の大切な写真

Yasui Nakaji 1903-1942 : Photographs

～2月12日(月・振休)

観覧料

一般 1,600円、大学生 1,000円、高校生以下無料、70歳以上 800円、
障害者手帳等をお持ちの方(一般 400円、大学生 250円)

日本の写真史の中でも傑出した存在として知られる安井仲治(1903-1942)。約20年という短い活動期間にも関わらず、あらゆる対象にカメラを向けながら、現実の断片から強烈な象徴性をとらえて作品としました。本展では戦災を免れたウィンテージプリントとネガの調査を元に、安井の活動のさらなる解明を試みます。写真がフィルムからデジタルへと変わり誰もが写真を撮るようになった今だからこそ100年の時を超えて、安井の写真は私たちの心をとらえるでしょう。



(浅香) 1939 個人蔵 (兵庫県立美術館寄託)

関連イベント

- 記念トーク 「美術家から見た安井仲治」 1月28日(日) 15:00～16:30(開場14:30)、出演:島袋道浩(美術家) ミュージアムホール(定員150名)、要観覧券、当日先着順、芸術の館友の会会員優先座席あり
- 野口里佳さんによるワークショップ 1月20日(土) 講師:野口里佳(写真家) 詳細は決まり次第、当館Webサイトにてお知らせします。
- こどものイベント特別編 野口里佳さんによるワークショップ 1月21日(日) 講師:野口里佳(写真家) 詳細は決まり次第、当館Webサイトにてお知らせします。
- 学芸員による解説会 1月6日(土)、2月10日(土) 各日15:00～15:45、レクチャールーム(定員60名)、参加無料、当日先着順

スーラージュと森田子龍

Pierre Soulages and Morita Shiryu

3月16日(土)～5月19日(日)

観覧料

一般 1,600円(1,400円)、大学生 1,000円(800円)、
高校生以下無料、70歳以上 800円、
障害者手帳等をお持ちの方(一般 400円、大学生 250円)
※()内は前売料金(一般、大学生のみ)。
※前売販売期間:1月12日(金)～3月15日(金)



森田子龍(坐壇上) 1953年 当館蔵

戦後まもない時期、海外の抽象絵画と日本の前衛書は、ジャンルの違いをこえて同時代性を示しています。フランスの画家ピエール・スーラージュ(1919-2022)と、森田子龍(1912-1998)は、森田が編集する雑誌「墨美」を通じてつながりを持つようになりました。「白黒の仲間」(森田の発言)の作品をめぐって、西洋と東洋の芸術家の出会い、昨今のグローバル化を先取りする国際的な文化交流について考えます。

関連イベント

- 記念講演会 3月16日(土) 14:00～15:30(開場13:30)、講師:ブノワ・テクロン氏(スーラージュ美術館館長) ミュージアムホール(定員150名)、要観覧券、当日先着順、芸術の館友の会会員優先座席あり
- こどものイベント 詳細は決まり次第、当館Webサイトにてお知らせします。

■ ゆっくり解説会 in Winter

「安井仲治展」「コレクション展Ⅲ」の各担当学芸員が、展覧会の見どころや内容を手話通訳と要約筆記を交え、普段よりも「ゆっくり」したペースでお話しする解説会です。どなたでもご参加いただけます。

1月14日(日)13:00～14:30
レクチャールーム(定員60名)、参加無料、当日先着順

■ HART TALK 館長といっしょ! Vol.5

各界からゲストをお招きし、兵庫県立美術館の中長期的な課題について一緒に考えるトークセッションシリーズです。

2月3日(土)14:00～15:30(開場13:30)、
ゲスト:藤本由紀夫氏(館蔵作家)、松尾恵氏(ヴォイスギャラリー主宰)
テーマ:「京阪神のアートシーンのなかでの神戸、そして県立美術館—1970年代から今日まで」(仮題)
ミュージアムホール(定員150名)、参加無料、当日先着順

コレクション展Ⅲ

観覧料

一般 500円、大学生 400円、高校生以下無料、70歳以上 250円、
障害者手帳等をお持ちの方 100円

《特集》

美術の中の物語 1月13日(土)～4月7日(日)

Story in Art

兵庫県立美術館が所蔵するコレクションの中からテーマに応じて作品を紹介するコレクション展。コレクション展Ⅲでは「美術の中の物語」と題した特集展示を行います。「桃太郎」など誰もが知っている物語を絵画化した作品や、小説の挿絵原画など、「物語」と関係の深い美術作品を展示します。また、同時期開催の特別展「安井仲治展」と関連して、一室をもうけ、兵庫県立美術館が収蔵する写真作品を展示します。



和田三造《朝鮮総督府壁画画稿(三幅対)》1926年

《小企画》

生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西泠名家—

Shanghai School and Great Masters of Xiling Wu Changshuo: The 180th Anniversary of His Birth

清末から中華民国時代に活躍した呉昌碩(1844～1927)は、「清朝最後の文人」といわれています。生涯にわたって古代文字である石鼓文の臨書に励み、その風韻を書・画・篆刻に結実させました。生誕180年を機に開催する本展覧会では、呉昌碩の名品を中心に、その師友や子息、交流のあった海上派の芸術家たち、また呉昌碩が初代社長を務めた西泠印社の創始者とこれに続く諸名家の作品を展示します。なお本展覧会は「国立博物館収蔵品貸与促進事業」の特別協力を受けています。

前期:1月13日(土)～2月25日(日)
後期:2月27日(火)～4月7日(日)



呉昌碩《篆書選模精蘊横披》1919年 梅舒適コレクション

関連イベント

- 講演会「呉昌碩の世界」 2月18日(日) 14:00～15:30(開場13:30) 富田淳氏(九州国立博物館長) 鍋島稲子氏(台東区立書道博物館主任研究員) ミュージアムホール(定員150名)、参加無料、要観覧券、当日先着順
- 学芸員による解説会 《特集》1月27日(土)、3月2日(土) 《小企画》1月20日(土)、3月9日(土) 各日15:00～15:45(開場14:30) レクチャールーム(定員60名)、参加無料、当日先着順
- こどものイベント 詳細は決まり次第、当館Webサイトにてお知らせします。

子どもプログラム

■ こどものイベント

詳細は決まり次第、当館Webサイトにてお知らせします。

■ つながる ひろがる 美術館

当館Webサイト(「子どもプログラム」ページ)にて、館外でも身近に美術に触れることができるプログラムや鑑賞プログラムをご紹介します。

- ワークショップに挑戦してみよう! 「遊び」感覚で気軽にやってみよう!
- ①「つくって・みる・ひろば」 ③「あそんで・みる・ひろば」
- 美術館でのおやくそくを Youtubeでチェック!
- ②「みる・みる・ひろば」 『美術館探検マップ』 「美術館探検マップ」にあるポイントを探し、美術館の建物や彫刻作品の魅力を発見しよう!

「子どもプログラム」ページ

artm.pref.hyogo.jp/kids/index.html 申込み・お問合せ:078-262-0908



美術館の妖精 イベちゃん



Ando Gallery (入場無料)



安藤忠雄氏の建築模型(住吉の長屋、光の教会、地中美術館、ブルスト・コムレスなど)やドローイングなどを紹介しています。

